

適正な処理をお願いします

農業用廃プラスチック回収

ビニールハウスやトンネル

マルチなどに利用した農業用

プラスチックの回収を実施し

ます。市農業用廃プラスチック

対策協議会事務局（JAち

ばみどり営農センター）そうさ

72・1177）に連絡の上、

搬入してください。

使用済み農業用プラスチック

クの野焼き、簡易ドラム缶な

どでの焼却は禁止されていま

すので、適正な処理をお願い

します。

◆回収日程など

①実施日時…3月17日（火）、

18日（水）9時～15時

②回収場所…JAちばみどり

八日市場支店（市役所隣）

③料金…1kgにつき13円

④回収品目…農業用ビニール

およびポリ・肥料空き袋

（糸入り塩化ビニールなど

は回収できません）

◆搬入時の注意事項

①ビニールとポリは必ず分け

てください。

②ビニールは厚さ0・1mmと

0・05mmを分けてください。

③石、金属、木片などを混入

しないでください。

④マイカー線は使用しないで

ください。

同産業振興課農政班

73・0089

公表します

補償金免除繰上償還に係る 財政健全化計画などの実施状況

平成19年度に国の承認を受
けた「匝瑳市財政健全化計

財政健全化計画執行状況（一般会計）

	地方債残高 (百万円)	実質公債費 比率 (%)	職員数 (人)	改善額 (百万円)
計画目標値	13,021	16.4	333	21
実績値	12,971	16.0	325	210

経営健全化計画執行状況（病院事業）

	企業債残高 (百万円)	累計欠損金 比率 (%)	職員数 (人)	改善額 (百万円)
計画目標値	2,192	△50.6	146	63
実績値	2,150	△50.7	※145	53

※職員数の減少は、医師1名の退職によるものです。

画」および「匝瑳市病院事業
経営健全化計画」の平成19年
度決算数値による実施状況は
上の表の通りでした。

財政健全化計画については、

地方債現在高、実質公債費比

率、職員数、改善額のすべての

数値が目標値を達成しました。

経営健全化計画については、

公営企業債現在高は目標値を

達成しましたが、医師数の純

短歌

土屋耕一推薦

狭庭^{さにわ}に鈴^{すず}なりの熟れ柿^{かき}日々^{ひび}に來^きし鳥^{とり}らに食^く

われ今年^{ことし}も暮^くるる 佐藤 直枝

子や孫^{こゝろ}に作りて与^よふ注連^{しづな}繩^{なわ}の今年^{ことし}も増^ふえり遂^{つい}

に十本 市原 弘

元日に曾孫^{そご}が爺^{おや}ちゃん御^ごめでとうと手^てを出^でし

寄りくる可憐^{かわい}な姿 太田 勇

孫達の遊び^{あそび}しおもちや押^お入れに眠^ねりてゐたり

みな父母^{ふぼ}となる 土屋 静枝

骨密度^{こつみつど}成人^{せいじん}の若者^{わかもの}と比較^{ひかく}する九十^{こじゅう}パーセント

は自慢^{ひま}の一つ 青木 秀子

永^{とこ}らえて八十路^{はちろ}の坂^{さか}を我^{われ}の越^こす健^{けん}やかなるが

宝^{たから}と知りぬ 太田 玲子

無^む造^{ぞう}作^{さく}に菓子^{かし}の袋^{ふくろ}を投げ捨^なてる野球^{やきゅう}少年^{しょうねん}に寄^よ

り行き戒^{かい}む 多田^{ただ}佐智子^{さちこ}

たんぼのわたげ吹^ふいたらとんでった風^{かぜ}に吹^ふ

かれてやねより高く いづはらね

文芸コーナー

春の夢

樺海の三百年

匠探訪

(36)

「樺」に関心を持ち大学院の修士論文のテーマにしたいという方が立春の翌日訪ねて見えました。市内の樺地区という地名に着目されたこのことで、案内しながら頭に浮かんだ「春の夢」を紹介します。むかし、樺の巨木があつてそれが枯れ果てて湖となり、樺海（樺湖・つばきのうみ）となったといひます。

下総国の香取、海上、匠瑳3郡にまたがる東西12キロ、南北6キロの湖は、1670年（寛文10年）から干拓工事が始められました。そして1674年（延宝2年）春から新田が売り出され農民の移住も始まり、工事開始から25年後の1695年（元禄8年）になって新田18か村が誕生しました。

飯塚の台地から見た干潟八万石

ところで、いつごろから九十九里浜の海退によつて形成された淡水湖が樺海と呼ばれるようになったのでしょうか。

干拓前には、「太田の湖水」と記載された地図があるとされることから、干拓前後から樺海となったと考えてはどうでしょうか。名を付けるにあたって周辺村むらのうち湖岸の「樺村」に由来すると見るのが妥当でしょう。では、樺村の成立はいつか。1591年（天正19年）の記録に「樺村」とあり、天神・五正部（こ

しょうぶ）と宿（しゆく）集落をあわせて村となったのでしよう。同地区には「八重崎」という地名があり、新田18か村の中には「八重穂村（現在の東庄町）」というめでたい村名も付けられました。「樺・ツバキ」は神意が宿る聖なる木とされ、八百比丘尼（やおびくに）が移植したとも伝承され、共興地区にこの伝説があり樺海との結びつきが考えられます。

調査の最後に、飯塚の台地から干潟八万石の耕地を見渡しなが大学院生が「これが湖のままだったらどうでしょうね？」とたずねました。しばらくして「樺海300年余りの歴史を振りかえりこの地に生きた人たちのことに想うと、やはり干拓して良かったのではないのでしょうか」と答え、「今はまだ冬枯れのままだが、田植えの済んだ頃や一面が黄金色に染まる時節になるとまた違った印象を受けるでしょう」と付け加えました。

「樺の魅力と畏怖」をテーマにした調査から樺海の歴史をたどりましたが、「湖のままだったら……」との質問は「春の夢」のようにも思えました。

問八日市場図書館 ☎73・3746

★力作募集中★

あて先…匠瑳市秘書課広報聴班
〒289-2198 匠瑳市八日市場ハ793番地2
☎73-0080、FAX72-1114



川口城司推薦

新成人の意見発表爽やけしふるさと家族友の愛に及ぶ

伊橋 良子

左手に下げたる数珠のほのゆれて低し経誦す虚無僧のこゑ

渡辺 重雄

夕闇に水仙の花白く浮く緋模様は遠き日思ふ

小川みさ子

年老いて見上げる孫の背丈伸び今日成人式の晴れを祝いて

熱田 栄子

俳句

西野棠雨推薦

雪催そのまま暮れてしまひけり

大川 宣子

遅日光産室にある計量器

八木佐久司

一人居の湯吞ことりと寒の明け

中村 和子

ほめられてふつと手をやる冬帽子

光瀬甲江子

春立つや大地を覚ます堰の音

依知川きよ

水底に魚群きらめき春立てり

伊藤 さく

片言の増ゆるたよりや春立ちぬ

平山 もと

笛鳴や夫の遺作の竹箒

伊藤 友子

川口城司推薦

初日の出拝む野原のど真ん中
小春日や隣の家のお茶うまし

伊藤 定子

川柳

高梨果宝推薦

苦難乗り越えて晩婚ゴールイン
のんびりと過ぎた人生でも八十路

安藤 睦子

蝸牛家を背負つてマイペース

石毛惣一郎

丑年の娘は見合い捌らず

鎌形ミツエ

支えられ牛歩で進む趣味の道

佐久間美智子

ダイヤ婚指しスローで行く余生

鈴木ツネ子

もう春と告げに来ました路の藁

常世田やす子

外は冬土の中では春支度

榎本ひかる

伊藤さとし

図書館で視野を広げる車椅子
傘寿の母鎌を持つ手が重労働

川口城司推薦

嶋田テル子
及川 利道